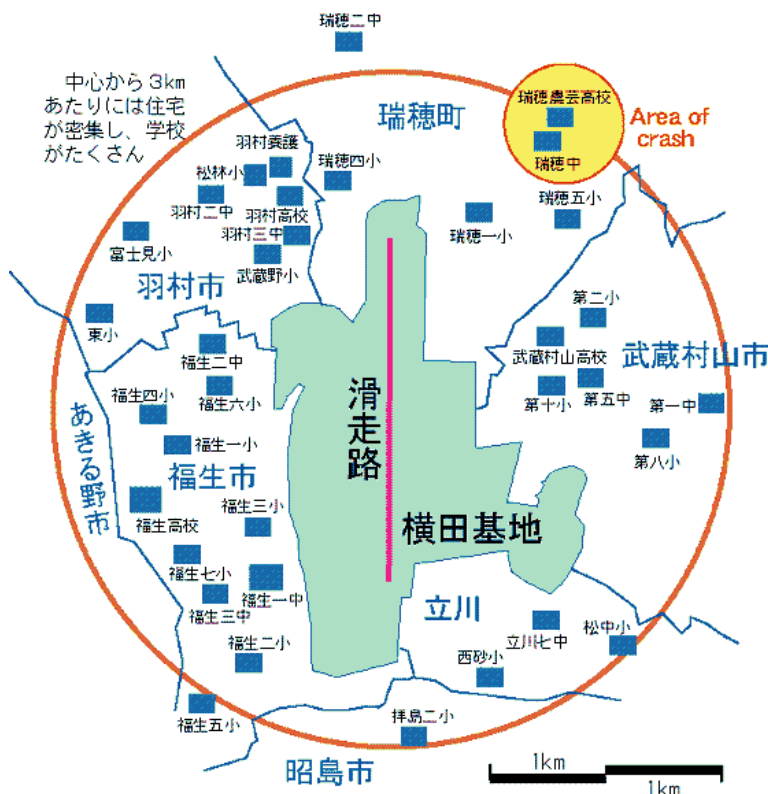


# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2011.2.15 No.97 連絡先 FAX 042-555-1911



## 危険いっぱいの米軍横田基地 周辺には34校もの学校が！

米空母の母港がある、米海兵隊の前進基地がある、首都に米軍基地がある、みんな日本だけ。日米同盟は異常なことばかり。しかも、東京に米軍基地があることを多くのアメリカ人は知りません。

「ニューヨークの大都市圏協会に招かれた時、東京の地図を広げて、ど真ん中に広大な米軍の空軍基地があることを説明した。すると、参加者たちは『首都の東京にそのような空軍基地があるはずがない』『おまえの見間違えだ』と言って、いくら力説しても信用してくれない。」元東京都企画調整局長で、現在東京経済大学名誉教授の柴田徳衛先生が、怒って話されたことがあるそうです。

左写真は横田友好祭で展示された C17 大型輸送機です。C17 は横田に日常的に飛来しています。昨年、アラスカで C17 が滑走路の中心から約 3 km の地点で墜落炎上、乗員 4 名が死亡しました。もし、横田だったら大惨事です。危険な基地は撤去させましょう。



## 米軍と防衛省 住民の平穏な生活と貴重な動植物の生態を脅かす

沖縄・東村高江で昨年 12 月 22 日、突然再開された米軍ヘリパッド工事は執拗に続いています。真っ暗な中での早朝工事、撤収に見せかけ別の場所で強行、大型トラックをガードレールに横づけし土嚢を放り込む、県道いっばいに広がって住民を威圧…。危険で、無謀なやり方です。建設予定地の「やんばる」は、亜熱帯の豊かな自然が広がり、ヤンバルクイナ、ノグチゲラなど貴重・希少な動植物の宝庫です。(写真：琉球切手ノグチゲラ)



## エジプト ムバラク大統領辞任 民主主義求める国民が追い込む

反政府デモが 1 月 25 日に起きてから 18 日目の 2 月 11 日、30 年間政権についていたエジプトのムバラク大統領がついに辞任しました。警察権力の横暴と抑圧、高失業と貧困の格差などに対する怒りと、民主主義を求める国民の行動がムバラク大統領を退陣に追い込みました。

チュニジアでも 1 月 14 日、ベンアリ大統領が出国し、23 年間の独裁体制が崩壊

## 北関東防衛局長から 福生市長への回答

(No. 97 の裏面)

福生市長が「中期防衛力整備計画」について、防衛大臣及び北関東防衛局長あてに抗議、申し入れをしていましたが、1月31日付で北関東防衛局長から回答がありました。(下線編集者)

横田飛行場に移転する部隊については、現在、府中基地に所在する航空自衛隊航空総隊司令部並びに関連部隊である作戦情報隊、防空指揮群、気象関連部隊及び警務関連部隊を予定しており、この他の部隊を移転させる予定はありません。

航空機の移駐については、航空総隊司令部等の移転後においても自衛隊の移動のためにヘリコプターや輸送機等の往来はありますが、航空機部隊及び航空機が常駐する予定はありません。

昨年12月17日に閣議決定された中期防衛力整備計画(平成23年度～27年度)に「横田基地を新設し、航空総隊司令部等を移転する」との記述については、以上のような考え方を踏まえたものであり、これまでご説明してきた施策を具体化するに当たり、法令上の整備として「横田基地」との文言を用いたものであります。

北関東防衛局として思いが至らず、中期防衛力整備計画に関する説明については、十分な配慮をすべきものであったと考えております。引き続き、当局と貴市との連絡を密にしていこうことにより対応して参りたいと考えておりますので、御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

再編交付金は、駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法(平成19年法律第67号)に基づき交付されるものであり、横田飛行場においては、航空総隊司令部及び関連部隊の移転の規模等を点数化し、交付しているものであります。

また、特定防衛施設周辺整備交付金は、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律(昭和49年法律第101号)に基づき、横田飛行場の設置又は運用が周辺に与える影響に応じて交付しているものであり、今後とも、自衛隊を含む横田飛行場の設置・運用等による傷害の実態を踏まえ、交付することになります。

なお、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律等に基づく民生安定施設の助成等については、今後とも、貴市からの御要望をお聞きしながら、可能な限り努力して参りたいと考えております。

日米間のインターオペラビリティ(相互運用性)の向上とは、部隊運用などの面で、日米の相互の連携を向上させることであり、今回の航空総隊司令部等の移転により、わが国の防空や弾道ミサイル防衛における情報共有を始めとする日米の司令部組織間の連携が強化され、このようなインターオペラビリティの向上が図られることとなります。

防衛省としては、これまでも可能な限り関係地方公共団体に情報提供を行ってきたところであり、今後とも、横田飛行場に関する情報については、貴市及び関係地方公共団体に対し、適時適切に説明を行い、御理解と御協力が得られるよう努めてまいります。

スッキリしません。疑問もあります。◆自衛隊の移動のためにヘリコプターや輸送機等の往来は移転後どのくらいあるの？ ◆横田基地を新設の記述が、以上のような考え方を踏まえたとは何のこと？ ◆法令上の整備として「横田基地」との文言を用いたと言うけれど、法令上の整備の説明はないですね。◆中期防衛力整備計画に関する説明については、十分な配慮をすべきものであった？ いまは十分説明されているの？ ◆航空総隊司令部及び関連部隊の移転の規模等を点数化？ 再編交付金は何を基準に点数化しているの？ ◆わが国の防空や弾道ミサイル防衛における情報共有を始めとする日米の司令部組織間の連携が強化され、相互運用性が図られる？ いま、日本を攻めてくる国はあるの？ ◆これまでも可能な限り関係地方公共団体に情報提供を行ってきた？ 嘘でしょう！ 航空総隊司令部の建築図面も真っ黒だったし、大量の掘削土壌の安全性も明らかにしなかったし、580億円で23施設も建設しながら市民に知らせず、環境アセスもやっていないじゃないですか？ ◆防衛大臣の回答はなく、やはり地元軽視ですね！